

## 大豆の腐敗粒（新発生）

令和2年9月下旬から10月にかけて、空知、石狩、十勝およびオホーツク地方において大豆の莢にかびが発生し、子実が着色または腐敗している症状が確認された。腐敗部分には *Alternaria* sp.をはじめ、様々な糸状菌が確認されたが、ほ場ごとに属の構成も異なっており、べと病、紫斑病、子実汚斑病（道内未発生）など既知の子実で発生する病原菌はいずれも確認されなかった。これらの糸状菌のうち、最も観察頻度の高かった *Alternaria* sp.を分離し、大豆子実に接種したところ、茶褐色の着色粒が再現され、接種菌が再分離された。このことから、本症状は東北地方で確認されている大豆の腐敗粒と同一の症状であると判断された。

（中央農試）



大豆の腐敗粒（中央農試 野津 原図）